



地域医療連携の ICT化 がめざすもの

近年の急速な少子高齢化の進展や医療技術の進歩により、保健医療を取り巻く環境は、ニーズの多様化・高度化、また、情報化社会の発展など大きく変化しつつあります。

また、医療情報連携体制については、町村域、医療圏、全県域といった各圏域のニーズと実現課題に合わせたものを整備すべきであり、具体的には、診療情報のデジタル化、ネットワーク化を前提にした上で、県内の中核病院と診療所の病診連携、全県域では基幹病院と中核病院の病病連携や遠隔医療の連携など、それぞれ異なる階層の情報連携システムが必要になってきます。

さらに、2011年の東日本大震災や和歌山県における台風水害の経験から、災害時の医療支援にICTが重要な役割を果たすことも期待されています。和歌山地域医療情報ネットワーク協議会では、今回「地域医療連携のICT化がめざすもの」をテーマにシンポジウムを開催し、和歌山県における地域医療連携の将来の姿を考える機会にしたいと思います。

平成25年 **2月16日(土)** 12時半開場

参加費 無料(会員)
非会員は1,000円(当日入会可)

会場 **和歌山県立医科大学**
生涯研修センター 研修室 (図書館棟3階)

※会場の都合により、ご参加には事前の申込みをお願いいたします。

主催：NPO法人 和歌山地域医療情報ネットワーク協議会 (WAMINA)

後援：日本医療情報学会関西支部 関西医療情報処理懇談会 (KMI) 和歌山県 和歌山県地域情報化推進協議会 (WIDA)

プログラム

- 13:00 開会
- 13:05 講演1 「地域医療連携のICT化に関する医療政策の動向」
演者 厚生労働省医政局研究開発振興課医療技術情報推進室長 石井安彦先生
- 13:50 講演2 「先進事例紹介：佐賀県診療録地域連携システムピカピカリンク」
演者 佐賀大学医学部附属病院医療情報部准教授 高崎光浩先生
- 14:35 紹介 「和歌山県における医療情報連携・保全基盤促進事業について」
演者 和歌山地域医療情報ネットワーク協議会理事長 入江真行
- 14:55 休憩
- 15:10 第2部 パネルディスカッション「地域医療連携のICT化がめざすもの」
座長：入江真行 パネリスト：石井安彦 高崎光浩 道本浩司 (WAMINA副理事長)
- 16:30 閉会
- 17:00 交流会 レストラン・カフェ デサフィナード

お問合せ・お申込み先

医療情報技師ポイント：3ポイント付与
詳細はWAMINA事務局まで

NPO 法人和歌山地域医療情報ネットワーク協議会 事務局

〒640-8034 和歌山市橋丁 21 番地 N2 ビル 3F Tel&Fax : 073-488-7316

Email : ict@wamina.jp



石井 安彦先生

2000年札幌医科大学医学部卒業、5年間の臨床医(泌尿器科)生活を経て、2005年厚生労働省入省。
健康局、保険局、医政局医事課などを経て、2012年8月より現職。

高崎 光浩先生

1987年 旧佐賀大学大学院修士課程理工学研究科修了、1991年 旧佐賀医科大学大学院博士課程医学研究科修了。
麻酔学講座助手を経て、医療情報部准教授。

会場へのアクセス

和歌山県立医科大学 (和歌山市紀三井寺811番地1)

交通 / JR 紀三井寺駅から徒歩で 18 分
交通 / 南海和歌山市駅からバスで 20 分
交通 / JR 和歌山市駅からバスで 19 分



参加申込書

- お申込み方法 下欄に必要事項をご記入のうえFAXでお申込みいただくか、下欄の内容を明記のうえE-mailでお申込みください。
- 締め切り 2013年 2月14日
- お申込み先 FAX:073-488-7316 E-mail:ict@wamina.jp

定員(100名)になり次第、締め切らせていただきます。

ふりがな お名前	ご所属 (またはお住まいの市町村名)	電話番号	交流会の参加
.....			参加・不参加
.....			参加・不参加
.....			参加・不参加